

骨董を愉しむ 展示リスト

会期2022年 8月27日～10月2日

番号	作 品 名	時 代	備 考
●テーマ1 地元愛・渥美壺と中村正義を眺めながら一献			
1	渥美窯大壺	鎌倉時代/陶器	
2	中村正義 花	昭和時代/油彩額装	1924～1977 日本画家 豊橋出身
3	古伊万里山水文酒注	江戸時代	
4	渥美窯山盃 6客	平安末～鎌倉時代	
●テーマ2 ちょっと恐い!? 仏像を眺めながら一献			
5	木彫天部立像	平安末期～鎌倉時代	
6	湖西窯 平瓶	古墳時代	
7	赤膚焼 盃	明治・大正時代	
●テーマ3 自己満足の仏教美術の雰囲気漂うとある日の宴会			
8	前机	江戸時代初期	木製漆塗
9	小皿(猿投窯 段皿) 4客	平安時代	
10	渥美窯山盃	平安末～鎌倉時代	
11	見立て皿(渥美窯陶片)	平安末～鎌倉時代	
12	箸置き(渥美窯陶片) 2客	平安末～鎌倉時代	
13	箸置き(猿投窯トチン) 2客	平安時代	
14	初期伊万里山水文盃	江戸時代初期	
15	盃 御陵碗	平安時代	
16	李朝堅手盃	李朝時代	浅川伯教旧蔵
17	初期伊万里蓮弁文御神酒德利	江戸時代初期	
18	德利(須恵器小壺)	平安時代	
19	藤原盆 4客	明治時代	木製漆塗 群馬県旧藤原村
20	富永朝堂作 魚干物	昭和時代	1897～1987 彫刻家 博多生まれ
21	木彫猫	江戸時代	
●テーマ4 美智との再会			
	茶席一式		
22	鉄灯籠	室町後期～江戸初期	
	添 鉄灯籠の古材台	不明	東大寺古材
23	竹結界	昭和時代	
24	忠八郎作 四方切合鉄風炉釜	江戸時代	仰止齋在判 松尾不染齋極
	添 織部敷瓦	江戸初期	
25	スペイン 阿蘭陀水指	18世紀	
26	光琳蒔絵 茶器	江戸時代	
27	唐津茶碗	江戸時代	銘 雨月
28	藍織部 兎鹿人物文茶碗	江戸時代	
29	安倍法川作 黒楽茶碗	令和4年1月	銘 白露
30	加藤高明(剛堂) 茶杓 くすくへ茶ばかりでなく家国も	よ 大正時代	富田宗慶所持 大正茶道記(高橋箒庵著)掲載
31	小堀遠州 茶杓	江戸時代	箱小堀権十郎
32	古染付 蓋置	明末清初	
33	瓢内塗 建水	昭和時代	
34	墨蹟「洪荒」	室町後期～江戸初期	
35	古材文机	不明	東大寺古材
36	花入(経筒)	平安後期～鎌倉時代	
37	名取川香合	大正時代	益田鈍翁 楽浪古材を以て
38	服紗(香合敷物)	18/19世紀	
39	糸印(会記押え)	室町後期～江戸初期	銅製
●テーマ5 見ぬ世の友とたわむれて			
40	霊元天皇勅筆 富士山	江戸時代前期	
41	渥美窯 山盃	平安時代	
42	宋白磁盃	宋	
43	大河内風船子 茶盃	現代	生没1902～1990 吉田藩主大河内家の子孫。美術史家。
44	尾戸茶碗	江戸時代中期	箱書 千種有功
45	白薩摩 德利	江戸時代中期	
46	斎藤ヤスヒコ作 鉄盆	現代	
47	冷泉家歴代短冊 手鑑	室町～昭和時代	
48	新田道純筆 新田猫	江戸時代後期	生没1798～1854 上野国新田郡下田嶋の旗本

49	二条昭実筆 聚楽懐紙	桃山時代(16世紀)	
50	色定法師 筆 一筆一切経断簡	鎌倉時代	正治2(1200)年成立。『仏本行集経』卷第二十 卷末。
51	狩野永納筆 冷泉為綱賛 藤原定家像	江戸時代前期	
52	藤原定家自筆「明月記」断簡	建暦3(1213)年5月	和田合戦(北条義時と和田義盛の争い)の記載
●テーマ6 かけらの美			
53	石鏃	弥生時代?	東伏見家伝来
54	板状土偶	縄文時代	
55	金環	古墳時代	
56	風鐸	奈良時代	
57	持国天残欠(衣文)	平安末～鎌倉時代	木造塗彩 興福寺東金堂伝来
58	蓮弁残欠	平安末～鎌倉時代	木造塗彩
●テーマ7 祈りの美			
59	御正体	鎌倉時代	嘉暦2年(1327)9月2日銘 梵字「パイ(薬師如来)」
60	蓮華紅蕾枝	室町時代	京都三十三間堂伝来
61	海獣葡萄鏡	唐	
62	流水蝶鳥鏡	平安時代	
63	水晶五輪塔	平安時代	
64	岩版	縄文時代	
●テーマ8 骨董動物園			
65	唐加彩馬	唐	
66	中東 テラコッタ鼠	6世紀	
67	居眠り童子(玉製 明時代)	明	
68	土製犬形	桃山時代	伝姫路城出土 安産祈願
69	影青 猿	宋	
70	影青 犬	宋	
71	アフガニスタン 水晶 獅子	1世紀	
72	御深井狗	江戸時代	
73	古銅 狗形 紐	鎌倉時代	信貴山形水瓶のツمامミ部分
74	磁州窯 白磁 羊	宋	
75	御深井 鯉 水滴	江戸時代前期	
76	鉄製蛙	明治時代	
77	ウランガラス 猫	大正時代	
●テーマ9 手紙や日記で歴史に親しむ			
78	伝洞院公員筆「和漢朗詠集」残簡	鎌倉～南北朝(14世紀)	伊勢藩主藤堂家伝来 藤坪庵切
79	伝 後白河法皇筆「白紙金銀金字経断簡」	12世紀	実際は同時代の高麗で書写されたもの。
80	後鳥羽上皇筆「紺紙金泥経断簡」	13世紀	
81	文覚筆「消息断簡」	鎌倉時代初期	
82	源頼朝筆「消息断簡」	平安時代末期	
83	源義経筆「消息断簡」	平安時代末期	
●テーマ10 骨董と街に出る			
84	印度更紗 名古屋帯	18/19世紀	印度 綿
85	大島紬 緋裾ぼかし 着物	現代	奄美大島 絹
ぐい呑み一式			
86	斑唐津呼継盃	江戸時代	
87	黒柿と杉の継箱	現代	黒柿・杉
88	仕覆	現代	綿・苧麻袷を解いて、越後上布
89	長谷川竹次郎作 南鐮蓋	現代	純銀
野点一式			
90	銀瓶	不明	純銀・鍍金
91	IWATANI製ガスバーナー	現代	
92	茶缶	昭和時代	ブリキ
93	古上野斑唐津茶碗	江戸時代	
94	仕覆	18/19世紀	綿・苧麻 印度更紗・越後上布
95	海田曲巷作茶杓	現代	銘 吟遊詩人
●テーマ11 大きなのっぽの古机			
96	古材机 椅子		